

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 平成24年 月 日 愛知県知事 殿 提出者 住 所 愛知県名古屋市港区潮見町5番 氏 名 株式会社サン・ビック 代表取締役 柳 学 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 052-612-3011 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社サン・ビック 半田事業所
事業場の所在地	愛知県半田市日東町1番地7
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21：窯業・土石製品製造業 88：廃棄物処理業
②事業の規模	製造品出荷額：4000万円
③従業員数	28人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(混合物(廃プラ、木くず)) 中間処理業者に委託して選別後、焼却処分 (ばいじん、汚泥) 最終処分業者に委託して埋立処分 一部のみ中間処理業者に委託して改質分級後、焼却してセメント原料として再資源化 (がれき) 再生処理業者に委託して破碎後、建設材料として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph TD     A[副工場長(廃棄物処理統括者)] --- B[ISO14001委員会]     A --- C[焼成工場 廃棄物処理責任者]     D[技術センター] --- C     C --- E[製造部員]           </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	混合物                      汚泥
	排 出 量	54 t                      0 t
	(これまでに実施した取組) 混合物の発生量を抑えるために、分別を確実にしている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	混合物                      汚泥
	排 出 量	100 t                      10 t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様に実施	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合物（廃プラ、木くず）、がれきはそれぞれ分別し、保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでと同様に実施	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph TD     A[副工場長(廃棄物処理統括者)] --- B[ISO14001委員会]     A --- C[焼成工場 廃棄物処理責任者]     D[技術センター] --- C     C --- E[製造部員] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ばいじん                      がれき
	排 出 量	2949 t                      0 t
	(これまでに実施した取組) ばいじんの発生量を抑えるため、最適な運転条件で処理を行う。また、発生工程の前段でサイクロン処理を行いおおまかなばいじんを除去する。 がれきの発生量を抑えるために、分別を確実にを行う。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ばいじん                      がれき
	排 出 量	3000 t                      200 t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様に実施	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合物（廃プラ、木くず）、がれきはそれぞれ分別し、保管している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでと同様に実施	

## (第3面①)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		

## (第4面①)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	全処理委託量	54 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	54 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。 優良認定処理業者を選定する。		

## (第4面②)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	全処理委託量	2949 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2948 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。 優良認定処理業者を選定する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	汚泥
	全処理委託量	100 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	100 t	10 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様に実施		
※事務処理欄			



2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	がれき
	全処理委託量	3000 t	200 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3000 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	200 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) これまでと同様に実施		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。